

悩み

人はそれぞれ悩みをもっています。どんな悩みがあるか考えて、思いついたことを、つぎの空白に書いてください。

宗教は悩みを解決するか

長いあいだ、キリスト教の世界では、現実の悩みにあまり関心を示さない人が多かったし、今だにそのことは続いています。キリスト者の中にも、現実の悩みに立ち向かっていこうという人がいますが、まだまだ少ないです。

どうしてこのようになったのでしょうか。今日の福音書を読むと、現実の悩みについてよく悩まないで、神さまに頼っていれば、神さまがきつといいようにしてくださるといふ答えが出てきます。その結果、キリスト者は現実の悩みに目を向けるよりも、教会

や家で祈いのっていれればいいという姿勢しせいを取るとようにな
りました。

しかし、聖書せいしょをよく読よむと、「何なによりもまず、神かみの国くに
と神かみの義ぎを求めもとなさい」と書かかれています。

「神かみの国くにと神かみの義ぎ」は、日本にほんじん人じんにとつても、現代げんだいじん人じん
にとつてもわかりにくい言葉ことばです。これは、ただ神かみさ
まのこゝただけ考かんえていれればよいということではあり
ません。神かみの義ぎとは、正義せいぎのことであり、不正ふせいをゆる
さないことです。

こゝで言いいたいことは、ただ自分じぶんたちの利益りえきだけを
考かんえず、回まわりにいるすべての人ひとの利益りえきも考かんえよとい

うことです。神かみの義ぎとは、すべての人ひとが一人ひとりも無視むしさ
れず、一人一人ひとりひとりが人間にんげんとして認みとめられることです。

自分じぶんがいかに食たべようか、いかに着きようかというこ
とで悩なやむより、回まわりの人ひとが本ほん当とうに人間にんげんらしい生活せいかつがで
きるように悩なやむのです。そうすれば、自然しぜんに自分じぶんたち
も人間にんげんらしい生活せいかつを送おくることができます。

